

2023年度 自己点検・評価報告書

2024年6月

神戸市立工業高等専門学校

基準1 神戸高専の目的に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
1-1 準学士課程の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	(1) ガイドライン等を踏まえ、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めているか。	■ 定めている	■ 満たしていると判断する
	(2) ディプロマ・ポリシーに「何ができるようになるか」が明記されており、準学士課程全体、各学科の目的と整合性を有しているか。	■ 有している	
	(3) ディプロマ・ポリシーの中で、学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力等の内容を明確に示しているか。	■ 示している	
1-2 準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性をもち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	(1) ガイドライン等を踏まえ、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を定めているか。	■ 定めている	■ 満たしていると判断する
	(2) カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーとの整合性を有しているか。	■ 有している	
	(3) カリキュラム・ポリシーの中で、どのような目的でカリキュラムを編成しているかという内容が明記されているか。	■ 明記されている	
1-3 準学士課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	(1) ガイドライン等を踏まえ、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）を定めているか。	■ 定めている	■ 満たしていると判断する
	(2) アドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえて策定しているか。	■ 策定している	
	(3) アドミッション・ポリシーには、「入学者選抜の基本方針」を明示しているか。	■ 明示している	
	(4) アドミッション・ポリシーには、「求める学生像（受け入れる学生に求める学習成果を含む。）」を明示しているか。	■ 明示している	
	(5) 受入れる学生に求める学習成果には「学力の3要素」に係る内容が含まれているか。	■ 含まれている	
1-4 専攻科課程の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	(1) ガイドライン等を踏まえ、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）を定めているか。	■ 定めている	■ 満たしていると判断する
	(2) ディプロマ・ポリシーに「何ができるようになるか」が明記されており、専攻科課程全体、各専攻の目的と整合性を有しているか。	■ 有している	
	(3) ディプロマ・ポリシーの中で、学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力等の内容を明確に示しているか。	■ 示している	
1-5 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性をもち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	(1) ガイドライン等を踏まえ、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）を定めているか。	■ 定めている	■ 満たしていると判断する
	(2) カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーとの整合性を有しているか。	■ 有している	
	(3) カリキュラム・ポリシーの中で、どのような目的でカリキュラムを編成しているかという内容が明記されているか。	■ 明記されている	
1-6 専攻科課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	(1) ガイドライン等を踏まえ、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）を定めているか。	■ 定めている	■ 満たしていると判断する
	(2) アドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえて策定しているか。	■ 策定している	
	(3) アドミッション・ポリシーには、「入学者選抜の基本方針」を明示しているか。	■ 明示している	
	(4) アドミッション・ポリシーには、「求める学生像（受け入れる学生に求める学習成果を含む。）」を明示しているか。	■ 明示している	
	(5) 受入れる学生に求める学習成果には「学力の3要素」に係る内容が含まれているか。	■ 含まれている	
1-7 学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。	(1) 学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、適宜点検する体制となっているか。	■ なっている	■ 満たしていると判断する
	(2) 学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、適宜点検しているか。	■ 点検している	

基準2 神戸高専の教育組織に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
2-1 学科の構成及び専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。	(1) 学科の構成が、学校の目的及び本科のディプロマ・ポリシーと整合性がとれているか。	■ 整合性がとれている	■ 満たしていると判断する
	(2) 専攻の構成が、学校の目的及び専攻科のディプロマ・ポリシーと整合性がとれているか。	■ 整合性がとれている	
2-2 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る事項を審議するなどの必要な活動が行われているか。	(1) 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)の体制の下、必要な活動を行っているか	■ 行っている	
2-3 学校の目的を達成するために、準学士課程に必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。	(1) 一般科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。	■ 確保している	■ 満たしていると判断する
	(2) 専門科目担当の専任教員を法令に従い、確保しているか。	■ 確保している	
	(3) 専門科目を担当する専任の教授及び准教授の数を法令に従い、確保しているか。	■ 確保している	
	(4) 適切な専門分野の教員が授業科目を担当しているか。	■ 担当している	
	(5) 適切な教員配置について専門分野以外に配慮していることがあるか。	英語等の外国語を母国語とする教員の配置（一般科・専門学科常勤／非常勤）	
2-4 学校の目的を達成するために、専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されているか。	(1) 専攻科の授業科目担当教員を適切に確保しているか。	■ 確保している	■ 満たしていると判断する
	(2) 適切な専門分野の教員が専攻科の授業科目を担当しているか。	■ 担当している	
	(3) 適切な研究実績・研究能力を有する教員が研究指導を担当しているか。	■ 担当している	
2-5 学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が講じられているか。	(1) 教員の配置について、教育研究水準の維持向上や教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏ることのないよう配慮しているか。	■ 配慮している	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)以外に配慮している措置はあるか。	ポジティブ・アクションの取組（女性労働者に係る措置に関する特例）	
	(3) 在職する教員に対して教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るために行っている措置等はあるか。	例えば、教育表彰制度、長期海外研修制度など	
2-6 全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。	(1) 全専任教員に対して校長又はその委任を受けた副校長による教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行い、その結果を基に給与・研究費配分への反映や教員組織の見直し等の適切な取組を行う体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)の体制の下、教員評価を実施しているか。	■ 実施している	
	(3) 把握した評価結果を基に、行っている取組はあるか。	次年度の賞与配分に反映させている、など	
	(4) 非常勤教員に対し教員評価を実施しているか。	授業評価を実施している。	

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
2-7 教員の採用や昇格等に関する基準や規程が明確に定められ、適切に運用されているか。	(1) 教員（非常勤教員を除く。）の採用・昇格等に関する基準を法令に従い定めているか。	■ 定めている	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)で定められている基準等では、教育上の能力等を確認する仕組みとなっているか。	■ 明示している	
	(3) (1)の基準等に基づき、実際の採用・昇格等を行っているか。	■ 含まれている	
	(4) 非常勤教員の採用基準等を定めているか。	■ 定めている	
2-8 授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメント）が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。	(1) 学校として、授業の内容及び方法の改善を図るためにファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）を実施する体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 概ね満たしていると判断する
	(2) 定期的にFDを実施しているか。	■ 実施している	
	(3) (2)のFDを実施した結果が、改善に結びついているか。	FDが教育の質向上や授業改善に結びついているかどうかの検証はできていない	
2-9 学校における教育活動を展開するために必要な事務職員、技術職員等の教育支援者等が適切に配置されているか。 また、教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。	(1) 教育支援者等（事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。）を法令に従い適切に配置しているか。	■ 配置している	■ 満たしていると判断する
	(2) 図書館に司書等の専門的職員を法令に従い適切に配置しているか。	■ 配置している	
	(3) 教育支援者等（事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。）に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組を適切に行っているか。	■ 行っている	

基準3 神戸高専の自己評価・改善の体制に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
3-1 教育活動や研究活動を中心とした総合的な状況について、定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されているか。	(1) 学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針を定めているか。	■ 定めている	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)の方針において、自己点検・評価の実施体制（委員会等）を整備しているか。	■ 整備している	
	(3) (1)の方針において、自己点検・評価の基準・項目等を設定しているか。	■ 設定している	
3-2 根拠となるデータや資料に基づいて自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。	(1) 根拠となるデータや資料等を定期的に収集・蓄積しているか。	■ 収集・蓄積している	■ 満たしていると判断する
	(2) 自己点検・評価を定期的に実施しているか。	■ 実施している	
	(3) (2)の結果を公表しているか。	■ 確保している	
3-3 神戸高専の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われているか。	(1) 教員の意見を聴取しているか。	■ 聴取している	■ 満たしていると判断する
	(2) 在学生の意見を聴取しているか。	■ 聴取している	
	(3) 卒業（修了）時の学生の意見を聴取しているか。	■ 聴取している	
	(4) 卒業（修了）から一定年後の卒業生（修了生）の意見を聴取しているか。	■ 聴取している	
	(5) 就職先・進学先関係者からの意見を聴取しているか。	■ 聴取している	
	(6) 保護者からの意見を聴取しているか。	■ 聴取している	
3-4 神戸高専の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われた結果が自己点検・評価に反映されているか。	(1) 自己点検・評価の実施に際して、聴取した意見を反映するようになっているか。	■ 反映している	■ 満たしていると判断する
	(2) 自己点検・評価の実施において、聴取された意見の評価結果及び他の様々な評価の結果等を踏まえて行っているか。	■ 行っている	
3-5 外部有識者による外部評価が定期的に実施され、聴取された意見等が自己点検・評価に反映されているか。	(1) 外部評価が定期的に実施されているか。	■ 行っている	■ 満たしていると判断する
	(2) 外部評価の結果が公表されているか。	■ 公表している	
	(3) 外部評価で聴取された意見等が自己点検・評価に反映されているか。	■ 実施している	
3-6 自己点検・評価や第三者評価、外部評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような組織としての体制が整備され、機能しているか。	(1) 自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような体制が整備されているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) 前回の機関別認証評価における評価結果について、「改善を要する点」として指摘された事項への対応をしているか。	■ 2021年度に対応済	
	(3) 前回の外部評価における指摘事項についての対応をしているか。	■ 対応している	

基準4 神戸高専の管理運営に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
4-1 管理運営の諸規程が整備され、各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。	(1) 管理運営体制に関する規程等を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) 委員会等の体制を整備しているか。	■ 整備している	
	(3) 校長、主事等の役割分担が明確になっているか。	■ 明確になっている	
	(4) 事務組織の体制を規程等に基づき整備しているか。	■ 整備している	
	(5) 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保しているか。	■ 確保している	
	(6) (1)～(5)の体制の下、効果的な活動を行っているか。	■ 行っている	
4-2 危機管理を含む安全管理体制が整備されているか。	(1) 責任の所在を明確にした危機管理を含む安全管理体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) 危機管理マニュアル等を整備しているか。	■ 整備している	
	(3) (1)(2)に基づき、定期的に訓練を行うなど、危機に備えた活動を行っているか。	■ 行っている	
4-3 外部資金を積極的に受入れる取組を行っているか。	(1) 外部の財務資源（科学研究費助成事業による外部資金、受託研究、共同研究、受託試験、奨学金附金）を積極的に受入れる取組を行っているか。	■ 行っている	■ 満たしていると判断する
	(2) 公的研究費を適正に管理するシステムが整備されているか。	■ 整備している	
4-4 外部の教育資源を積極的に活用しているか。 また、管理運営のための任務を果たすことができるよう研修等、管理運営に関わるSDが組織的に行われているか。	(1) 外部の教育資源を積極的に活用しているか。	■ 活用している	■ 満たしていると判断する
	(2) 管理運営のための任務を果たすことができるよう研修等、管理運営に関わるSDが組織的に行われているか。	■ 行っている	
4-5 教育研究活動等の状況についての情報（学校教育法施行規則第172条の2に規程される事項を含む。）が公表されているか。	(1) 教育情報を法令に従い適切に公表しているか。	■ 公表している	■ 満たしていると判断する
	(2) 高等専門学校の教育上の目的及び学校教育法施行規則第165条の2第1項の規程により定める方針について、学校内の構成員への周知を行っているか。	■ 行っている	

基準5 神戸高専の財務に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
5-1 本校の目的に沿った教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有しているか。	(1) 過去3年間の貸借対照表等による財務状態は適切な状況となっているか。	■ 適切な状況である	■ 満たしていると判断する
	(2) 校地、校舎等の資産を保有しているか。	■ 保有している	
	(3) 過去3年間に於いて運営費交付金、授業料、入学科、検定料等の経常的な収入を確保しているか。	■ 確保している	
	(4) 過去3年間の収支状況において支出超過となっていないか。	■ 支出超過ではない	
5-2 本校の目的を達成するための活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。	(1) 収支に係る方針、計画等を策定しているか。	■ 策定している	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)を関係者（教職員等）へ明示しているか。	■ 明示している	
5-3 本校の目的を達成するため、教育研究活動に対しての資源配分を、学校として適切に行う体制を整備しているか。そして、実際に行われているか。	(1) 目的を達成するために、教育研究活動に対して資源配分を行う際、明確なプロセスに基づいて行っているか。	■ 行っている	■ 満たしていると判断する
	(2) 資源配分が、収支に係る方針、計画と整合性を有しているか。	■ 有している	
	(3) 資源配分の内容について、教職員等の関係者に明示しているか。	■ 明示している	
5-4 本館を設置する法人の財務諸表等が適切な形で公表されているか。また、財務に係る監査等が適正に行われているか。	(1) 設置者は、法令等に基づき、財務諸表等を作成・公表しているか。	■ 作成・公表している	■ 満たしていると判断する
	(2) 財務に係る監査等を実施しているか。	■ 実施している	

基準 6 学習環境及び学生支援に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
6-1 編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。	(1) 校地面積を法令に従い適切に確保しているか。	■ 確保している	■ 概ね満たしていると判断する
	(2) 校舎面積を法令に従い適切に確保しているか。	■ 確保している	
	(3) 運動場を設けているか。	■ 設置している	
	(4) 校舎に専用の施設を法令に従い適切に備えているか。	■ 整備している	
	(5) 学科の種類に応じ、附属施設を法令に従い適切に整備しているか。	■ 整備している	
	(6) 自主的学習スペースを設けているか。	■ 整備している	
	(7) 教育研究環境の充実を図るため、(3)～(6)以外の施設・設備を設けているか。	■ 整備している	
	(8) 施設・設備の安全衛生管理体制を整備しているか。	■ 整備している	
	(9) (8)の体制が有効に機能しているか。	■ 機能している	
	(10) 施設・設備のバリアフリー化への配慮を行っているか。	■ 一部配慮している	
	(11) 整備された教育・生活環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備しているか。	■ 整備している	
	(12) (11)の体制において、教育・生活環境の利用状況や満足度等を把握し、改善等を実際に行っているか。	■ 行っている	
6-2 教育内容、方法や学生のニーズに対応した I C T 環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。	(1) 教育内容、方法や学生のニーズに対応した I C T 環境を適切に整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) I C T 環境のセキュリティ管理体制を適切に整備しているか。	■ 整備している	
	(3) I C T 環境は有効に活用されているか。	■ 活用されている	
	(4) (3)について学生や教職員の I C T 環境の利用状況や満足度等を学校として把握し改善等を行う体制を整備しているか。	■ 整備している	
	(5) (4)の体制が機能しているか。	■ 機能している	

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
6-3 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。	(1) 図書館の設備を法令に従い備えているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料を系統的に収集、整理しているか。	■ 収集・整理している	
	(3) (2)の資料は、教職員や学生に有効に活用されているか。	■ 活用されている	
	(4) (2)の資料が有効に活用されるための取組を行っているか。	■ 行っている	
6-4 履修等に関するガイダンスを実施しているか。	(1) 教育を実施する上でのガイダンスをどのような対象に対して実施しているか。	本科新入生、本科編入生および専攻科新入生	■ 満たしていると判断する
6-5 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	(1) 学生の自主的学習を進める上で、どのような相談・助言体制を整備しているか。	担任制の導入、オフィスアワーズの設定、試験前学習支援等	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)は、学生に利用されているか。	■ 利用されている	
	(3) 学習支援に関して学生のニーズを把握するための制度があるか。	■ ある	
	(4) (3)は、有効に機能しているか。	■ 機能している	

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
6-6 特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。	(1) 編入学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)の体制において、編入学生の支援を必要に応じて行っているか。	■ 行っている	
	(3) 社会人学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。	■ 整備している	
	(4) (3)の体制において、社会人学生の支援を必要に応じて行っているか。	社会人学生の受け入れ実績なし	
	(5) 障害のある学生の学習及び生活に対する支援体制を整備しているか。	■ 整備している	
	(6) (5)の体制において、障害のある学生の支援を必要に応じて行っているか。	■ 行っている	
	(7) 障害者差別解消法第5条及び第7条又は第8条（第9条、第10条、第11条の関係条項も含む。）に対応しているか。	■ 対応している	
	(8) 上記以外の特別な支援を行っているか。	■ 行っている	
6-7 学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	(1) 学生の生活や経済面における指導・相談・助言等の体制に関し、どのように整備しているか。	学生相談室、保健室の設置、カウンセラーの配置、奨学金や授業料減免	■ 満たしていると判断する
	(2) 健康診断及び健康相談・保健指導を定期的実施しているか。	■ 実施している	
	(3) (2)以外で、(1)の体制に基づいた学生の生活や経済面における指導・相談・助言等の活動が実際に学生に利用されているか。	■ 利用されている	
6-8 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。	(1) 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)の体制の下、就職や進学等の進路指導を含めたキャリア教育に関して、どのような取組を行っているか。	進路指導ガイダンスの実施、企業説明会など	
	(3) (2)の取組が機能しているか。	■ 機能している	
6-9 学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。	(1) 学生の課外活動に対する支援体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)の体制において、責任の所在が明確になっているか。	■ 明確になっている	
	(3) 学校としての支援活動の内容からみて、(1)の体制が機能しているか。	■ 機能している	

基準7 準学士課程の教育課程及び教育方法に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
7-1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	(1) カリキュラム・ポリシーを踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置しているか。	■ 配慮している	■ 満たしていると判断する
	(2) 一般教育の充実に配慮しているか。	■ 配慮している	
	(3) 進級に関する規程を整備しているか。	■ 整備している	
	(4) 1年間の授業を行う期間を定期試験等の期間を含め、35週確保しているか。	■ 確保している	
	(5) 特別活動を90単位時間以上実施しているか。	■ 実施している	
7-2 教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。	(1) 他学科の授業科目の履修を認定しているか。	■ 認定している	■ 満たしていると判断する
	(2) インターンシップによる単位を認定しているか。	■ 認定している	
	(3) 正規的教育課程に関わる補充教育の実施をしているか。	■ 実施している	
	(4) 専攻科課程教育と連携しているか。	■ 連携している	
	(5) 外国語の基礎能力（聞く、話す、読む、書く）の育成に配慮しているか。	■ 配慮している	
	(6) 個別の授業科目内での工夫はなされているか。	■ なされている	
	(7) 資格取得に関する教育を実施しているか。	■ 実施している	
	(8) 最先端の技術に関する教育を実施しているか。	■ 実施している	
7-3 創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。	(1) 創造力を育む教育方法の工夫を行っているか。	■ 行っている	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)の工夫を行った結果、あげた成果や効果はあるか。	PBL型授業で連携している企業から高い評価を得ている	
	(3) 実践力を育む教育方法の工夫を行っているか。	■ 行っている	
	(4) (3)の工夫を行った結果、あげた成果や効果はあるか。	学外実習や成長産業技術者育成プログラムの受入先からの高い評価を得ている	
7-4 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。	(1) カリキュラム・ポリシーに照らして、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。	■ 採用されている	■ 満たしていると判断する
	(2) 教育内容に応じて学習指導上の工夫がなされているか。	■ なされている	
7-5 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。	(1) カリキュラム・ポリシーを踏まえて適切に設定された項目に基づきシラバスを作成しているか。	■ 作成している	■ 満たしていると判断する
	(2) 教員及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っているか。	■ 行っている	
	(3) 設置基準第17条第3項の30単位時間授業では1単位当たり30時間を確保しているか。	■ 確保している	
	(4) (3)の30単位時間授業では、1単位時間を50分としているか。	■ している	
	(5) 学修単位の科目のシラバスには、1単位の履修時間は授業時間以外の学修等を合わせて45時間であることを明示しているか。	■ 明示している	
	(6) (5)の履修時間の実質化のための対策を講じているか。	■ 講じている	

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
7-6 成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	(1) 成績評価や単位認定に関する基準をカリキュラム・ポリシーに基づき、策定しているか。	■ 策定している	■ 満たしていると判断する
	(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行っているか。	■ 行っている	
	(3) 学修単位科目で、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているか。	■ 把握している	
	(4) 成績評価や単位認定に関する基準を学生に周知しているか。	■ 周知している	
	(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	■ 把握している	
	(6) 追試、再試の成績評価方法を定めているか。	■ 定めている	
	(7) 成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会があるか。	■ ある	
	(8) 成績評価等の客観性、厳格性を担保するため、どのような組織的な措置を行っているか。	成績評価の方法と内容の第3者確認を教務、自己評価委員会を中心に実施している	
7-7 卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。	(1) 学則等に修業年限を5年と定めているか。	■ 定めている	■ 満たしていると判断する
	(2) ディプロマ・ポリシーに基づき、卒業認定基準を定めているか。	■ 定めている	
	(3) 卒業認定基準に基づき、卒業認定しているか。	■ している	
	(4) 卒業認定基準を学生に周知しているか。	■ 周知している	
	(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	■ 把握している	

基準 8 準学士課程の学生の受入れに関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
8-1 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	(1) 学力選抜の合否判定を行う資料の配点方法が定められているか。	■ 定められている	■ 満たしていると判断する
	(2) 推薦選抜での合否判定を行う資料の配点方法が定められているか。	■ 定められている	
	(3) 推薦選抜での面接内容は適切なものになっているか。	■ なっている	
8-2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、アドミッション・ポリシーに沿っているかどうかの検証を行っているか。	■ 行っている	
	(3) (2)の検証の結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	■ 役立てている	
8-3 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。	(1) 学生定員を学科ごとに1学級当たり40人を標準として学則で定めているか。	■ 定めている	■ 満たしていると判断する
	(2) 学科ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制を整備しているか。	■ 整備している	
	(3) 過去3年間の学科ごとの入学定員に対する実入学者数が適正であるか。	■ 適正である	

基準9 準学士課程の学習・教育の成果に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
9-1 成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	(1) 成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、成績評価・卒業認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価しているか。	■ 定められている	
	(3) (2)の結果から学習・教育の成果が認められるか。	■ 認められる	
9-2 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	(1) 卒業生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) 卒業時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	■ 行っている	
	(3) 卒業生（卒業後5年程度経った者）に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	■ 行っている	
	(4) 進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	■ 行っている	
	(5) (2)～(4)の評価結果から学習・教育の成果が認められるか。	■ 認められる	
9-3 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	(1) 直近3年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	■ 認められる	■ 満たしていると判断する

基準 10 専攻科課程の教育課程及び教育方法に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
10-1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、専攻科の授業科目が適切に配置され、専攻科の教育課程が体系的に編成されているか。	(1) カリキュラム・ポリシーを踏まえて、適切な授業科目を体系的に配置しているか。	■ 配置している	■ 満たしていると判断する
	(2) 準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。	■ なっている	
10-2 専攻科の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	(1) カリキュラム・ポリシーに照らして、講義、演習、実験、実習等の適切な授業形態が採用されているか。	■ 採用されている	■ 満たしていると判断する
	(2) 教育内容に応じて学習指導上の工夫がなされているか。	■ なされている	
10-3 専攻科の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。	(1) 学生への教養教育や研究指導を適切に行っているか。	■ 行っている	■ 満たしていると判断する
10-4 専攻科の成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	(1) 成績評価や単位認定に関する基準をカリキュラム・ポリシーに基づき、策定しているか。	■ 策定している	■ 満たしていると判断する
	(2) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等を行っているか。	■ 行っている	
	(3) 学修単位科目は、授業時間以外の学修についての評価がシラバス記載どおりに行われていることを学校として把握しているか。	■ 把握している	
	(4) 成績評価や単位認定に関する基準を学生に周知しているか。	■ 周知している	
	(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	■ 把握している	
	(6) 追試、再試の成績評価方法を定めているか。	■ 定めている	
	(7) 成績評価結果に関する学生からの意見申立の機会があるか。	■ ある	
	(8) 成績評価等の客観性、厳格性を担保するため、どのような組織的な措置を行っているか。	成績評価の方法と内容の第3者確認を教務、自己評価委員会を中心に実施している	
10-5 修了認定基準が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。	(1) 学則等に修業年限を1年以上と定めているか。	■ 定めている	■ 満たしていると判断する
	(2) 専攻科のディプロマ・ポリシーに基づき、修了認定基準を定めているか。	■ 定めている	
	(3) 修了認定基準に基づき、修了認定しているか。	■ している	
	(4) 修了認定基準を学生に周知しているか。	■ 周知している	
	(5) (4)について、学生の認知状況を学校として把握しているか。	■ 把握している	

基準11 専攻科課程の学生の受入れに関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
11-1 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	(1) 学力選抜の合否判定を行う資料の配点方法が定められているか。	■ 定められている	■ 満たしていると判断する
	(2) 推薦選抜での合否判定を行う資料の配点方法が定められているか。	■ 定められている	
	(3) 推薦選抜での面接内容は適切なものになっているか。	■ なっている	
11-2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、アドミッション・ポリシーに沿っているかどうかの検証を行っているか。	■ 行っている	
	(3) (2)の検証の結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	■ 役立てている	
11-3 実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。	(1) 学生定員を専攻ごとに学則で定めているか。	■ 定めている	■ 満たしていると判断する
	(2) 専攻ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制を整備しているか。	■ 整備している	
	(3) 過去5年間の学科ごとの入学定員に対する実入学者数が適正であるか。	■ 適正である	
	(4) 過去5年間で、実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っているか。	■ 行っている	

基準12 専攻科課程の学習・教育の成果に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
12-1 成績評価・修了認定の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	(1) 成績評価・修了認定の結果から学習・教育・研究の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) 学生が修了時に身に付ける学力・資質・能力について、成績評価・修了認定の結果から学習・教育の成果を把握・評価しているか。	■ 把握・評価している	
	(3) (2)の結果から学習・教育・研究の成果が認められるか。	■ 認められる	
12-2 達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	(1) 修了生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制を整備しているか。	■ 整備している	■ 満たしていると判断する
	(2) 修了時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	■ 行っている	
	(3) 修了生（修了後5年程度経った者）に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	■ 行っている	
	(4) 進路先関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価を行っているか。	■ 行っている	
	(5) (2)～(4)の評価結果から学習・教育の成果が認められるか。	■ 認められる	
12-3 就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	(1) 直近3年間の就職率及び進学率から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	■ 認められる	■ 満たしていると判断する
12-4 修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	(1) 過去3年間の修了生の学位取得の状況から、学習等の成果が認められるか。	■ 認められる	■ 満たしていると判断する

基準13 神戸高専の研究活動に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
13-1 神戸高専の研究活動の目的等に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果が得られているか。	(1) 研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。	■ 定められている	■ 満たしていると判断する
	(2) 設定した研究活動の目的等を達成するための実施体制を整備しているか。	■ 整備している	
	(3) 設定した研究活動の目的等を達成するための設備等を含む研究体制を整備しているか。	■ 整備している	
	(4) 設定した研究活動の目的等を達成するための支援体制を整備しているか。	■ 整備している	
	(5) (2)～(4)の体制の下、研究活動が十分に行われているか。	■ 行われている	
	(6) 設定した研究活動の目的等に照らして、成果が得られているか。	■ 得られている	
	(7) 得られた成果から問題点等を把握し、それを改善に結び付けるための体制を整備しているか。	■ 整備している	

基準14 神戸高専の地域貢献活動に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
14-1 神戸高専の地域貢献活動等に関する目的等に照らして、地域貢献活動が適切に行われ、活動の成果が認められているか。	(1) 地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。	■ 定められている	■ 満たしていると判断する
	(2) 設定した地域貢献活動等に対して実施体制は整備しているか。	■ 整備している	
	(3) 設定した地域貢献活動等について、具体的な方針を策定しているか。	■ 策定している	
	(4) (3)の方針に基づき計画的に実施しているか。	■ 実施している	
	(5) 設定した地域貢献活動等の目的等に照らして、成果が認められるか。	■ 認められる	
	(6) 得られた成果から問題点等を把握し、それを改善に結び付けるための体制を整備しているか。	■ 整備している	

基準15 神戸高専の国際交流活動に関すること

細 目	自己点検・評価項目	自己点検・評価	自己点検・評価結果を踏まえ、当該観点の内容を満たしているか。
15-1 神戸高専の国際交流活動等に関する目的等に照らして、国際交流活動が適切に行われ、活動の成果が認められているか。	(1) 国際交流活動に関する実施体制が整備され、目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。	■ 定められている	■ 満たしていると判断する
	(2) 設定した国際交流活動等について、具体的な方針を策定しているか。	■ 策定している	
	(3) (2)の方針に基づき計画的に実施しているか。	■ 実施している	
	(4) 設定した国際交流活動等の目的等に照らして、成果が認められるか。	■ 認められる	
	(5) 得られた成果から問題点等を把握し、それを改善に結び付けるための体制を整備しているか。	■ 整備している	